

なかふらのの未来へ

つながる学校づくり

No. 4

第4話「新旧の共演」

写真は、今から41年前の昭和55年2月に中富良野中学校の校舎の1棟目（玄関・職員室・普通教室など）が完成したときのものです。当時の先端技術を導入した近代的な鉄筋コンクリート造りの現在の校舎と、大きな煙突を抱えた板張りの外壁や木

枠の窓の旧校舎が共演する貴重な一枚です。木造の旧校舎は、こののち特別教室を備えた西側校舎の建築のため、取り壊されてしまいました。

下の図は、新校舎の普通教室のイメージ図となります。児童生徒の人数により壁を動かすことで広さを変え、多様な教育活動に対応できるように検討委員会で現在検討しています。

これまでの教室は、教科書のサイズがB版からA版に変更になったことに伴って大きくなった児童机の影響や学年の人数により同じ大きさの

教室に入る人数によって狭く感じる
ことがありました。

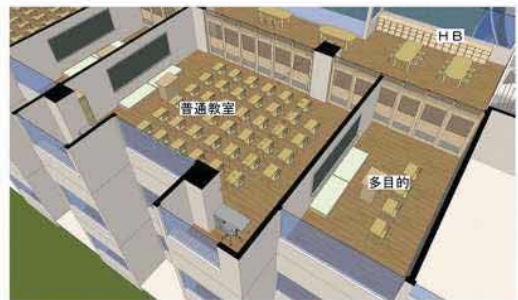
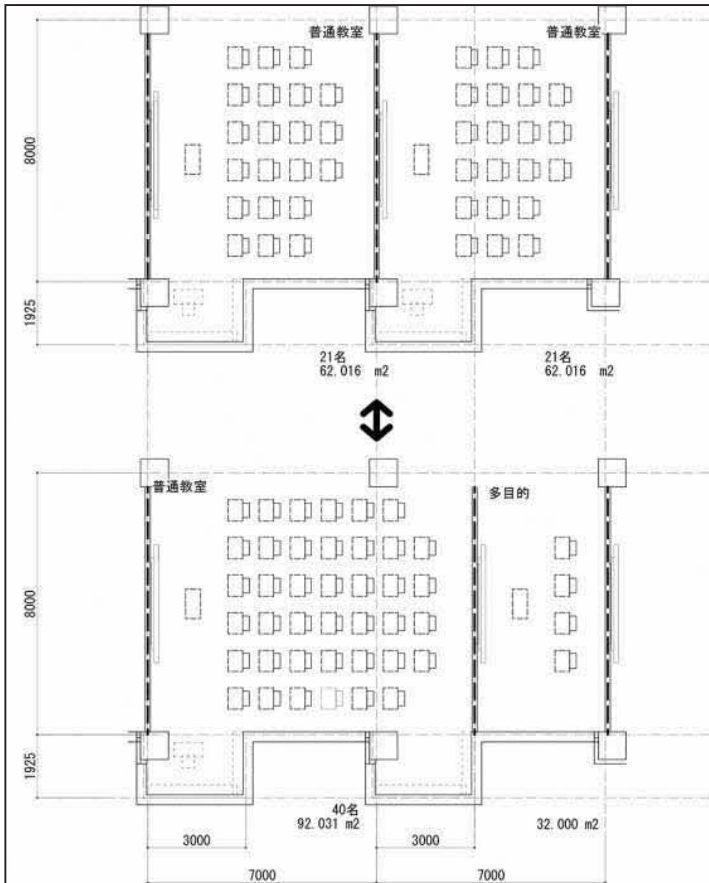
この可変式教室は、これらの課題
を解決してくれるアイデアとして
期待が高まっています。

新校舎と旧校舎、これまでの教室
とこれからの教室、まさに「つなが
る」学校づくりが今すすんでいます。

【つづく】



中学校現校舎と旧校舎（昭和55年）



新校舎の普通教室（可変式教室）